

平成 25 年度

事業報告書

特定非営利活動法人みたけ弥勒クラブ

「みらい塾」

〒020-0122 盛岡市みたけ五丁目17番17号

TEL 019-601-1160 FAX 019-643-7111

メール mitake36@extra.ocn.ne.jp URL <http://miraijyuku.web5.jp/>

「みらい塾上堂分場」

〒020-0125 盛岡市上堂四丁目1番60号

TEL 019-645-8660 FAX 019-645-8661

メール kamido36@ivy.ocn.ne.jp

# 事業報告書 目次

## § 1. 法人の部

1	事業所の概況	1
2	沿革	2
3	役員	3
4	会員	3
5	組織及び職員	3

## § 2. 「みらい塾」の部

1	事業概要	4
2	利用者状況	
	(1) 月次利用実績（平日）	5
	(2) 月次利用実績（土日）	5
	(3) 月次利用実績（日中一時）	5
	(4) 在籍利用者数	6
	(5) 市町村別の状況	6
	(6) 年齢構成の状況	6
	(7) 平均年齢	6
	(8) 障害程度区分	6
3	事業実施状況	
	(1) 生活介護事業	7
	(2) 就労継続支援B型事業	8
	(3) 土曜日開所	9
	(4) センターII型事業	10
	(5) 日中一時支援事業	11
	(6) リスクマネジメント状況	11
	(7) 実習生受入状況	12
	(8) 社会福祉実習生等の受入状況	12
	(9) 関係機関との連携、委員等の派遣	12
4	職員研修実施状況	13
5	地域社会との交流	14
6	防災訓練実施状況	15
7	収入・支出の状況	16

## § 1. 法人の部

### 1 事業所の概況

(1) 設置主体 特定非営利活動法人みたけ弥勒クラブ

(2) 事業所名 みらい塾 (多機能型事業所)

(3) 実施事業

	事業名		定員	備考
1	個別給付	生活介護事業	20人	
2		就労継続支援 B 型事業	15人	上堂分場
		合計	35人	
3	地域生活	地域活動支援センターⅡ型事業	30人/日	
4	支援事業	日中一時支援事業	10人/日	

(4) 土地・建物

項目	みらい塾	上堂分場
敷地面積	518.22 m <sup>2</sup>	267.05 m <sup>2</sup>
建物面積	338.10 m <sup>2</sup>	183.98 m <sup>2</sup>
1階床面積	179.11 m <sup>2</sup>	88.42 m <sup>2</sup>
2階床面積	158.99 m <sup>2</sup>	95.56 m <sup>2</sup>
建物の高さ	10.57 m	8.35 m
建築物の構造	木造	木造

## 2 事業所の沿革

### 2005年（平成17年）

- 4月 NPO 法人設立に向け準備を開始する
- 7月 設立総会を開催
- 10月 特定非営利活動法人みたけ弥勒クラブ 認証され、登記する
- 12月 改築工事完了

### 2006年（平成18年）

- 2月 事業所（みらい塾）説明会
- 4月 障がい者デイサービスセンター「みらい塾」開所（定員20人）
- 7月 もりきたエコムネットに入会
- 10月 事業所説明会（障害者自立支援法に向けて）  
経過的デイサービス事業へ移行、日中一時支援事業開始（定員7人）

### 2007年（平成19年）

- 3月 事業所説明会（新法移行について）
- 4月 多機能型事業所「みらい塾」開所  
生活介護事業（定員15人）、自立訓練（生活訓練、定員10人）  
地域活動支援センターⅡ型事業（定員15人）開始
- 10月 岩手県障害者自立支援基盤整備事業の補助金を受け改築

### 2008年（平成20年）

- 5月 分場開設に向け準備を開始する
- 12月 就労継続支援 B 型事業所「みらい塾上堂分場」開所（定員15人）

### 2009年（平成21年）

- 3月 日本財団より、送迎車両（セレナ）・軽トラックの助成を受ける
- 5月 理事増員（3人→6人）
- 11月 岩手県障害者自立支援基盤整備事業の補助金を受け送迎車両を配備（ハイエース）

### 2010年（平成22年）

- 4月 平成21年度共同募金による施設整備費助成決定（建物窓修繕整備事業）  
土曜日開所事業（余暇支援活動）開始
- 10月 法人設立5周年

### 2011年（平成23年）

- 3月 自立訓練（生活訓練）事業廃止
- 4月 生活介護事業定員増（定員20人）
- 5月 地域活動支援センターⅡ型事業定員増（定員20人）

### 2012年（平成24年）

- 1・3・8月 学習塾季節限定講習実施（算数、英語 合計24日間）
- 12月 夕方見守り事業開始（日中一時支援事業として）

### 2013年（平成25年）

- 1月 学習塾冬期講習実施（算数、英語 合計8日間） 学習塾事業中止
- 4月 地域活動支援センターⅡ型定員増員（定員30人）  
日中一時支援事業定員増員（定員10人）

### 3. 役員

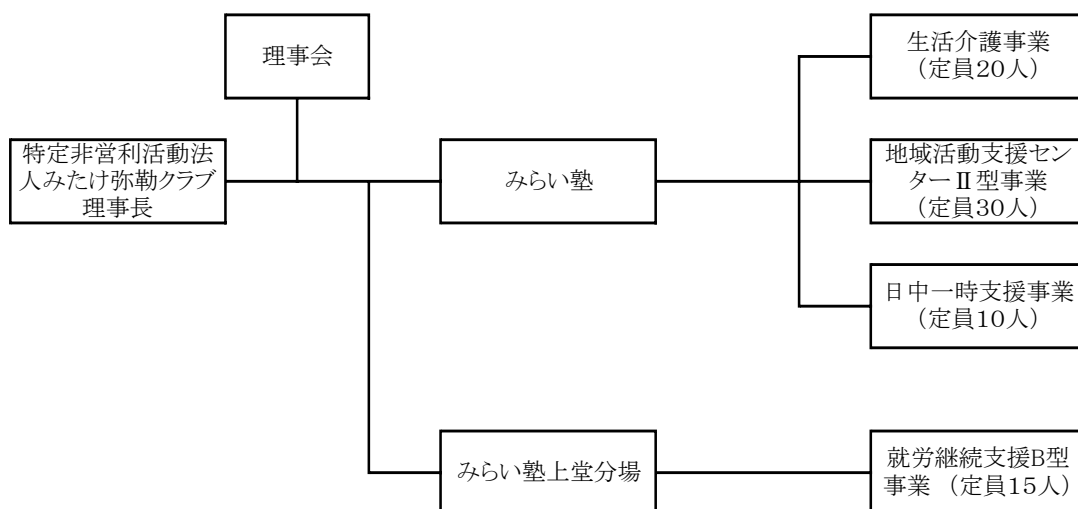
役 職	氏 名
理 事 長	吉岡 美佐子
副理事長	山田 明夫
理 事	玉井 裕子
理 事	本間 格子
理 事	山内 美子
理 事	吉田 良勝
監 事	澤藤 勲

### 4. 会 員

年度	(人)								
	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	
正会員	19	16	16	14	14	16	10	10	
賛助会員	20	24	37	29	27	23	25	26	
合計	39	40	53	43	41	39	35	36	

### 5. 組織及び職員

#### (1) 組織図



#### (2) 職員数 (平成26年3月31日現在)

職 名	生活介護	B型(分場)
管理者	1	兼務
サービス管理責任者	1	兼務
看護師(管理者兼務)	管理者兼務	兼務
生活支援員	10	2
職業指導員	-	1
小 計	12	3
合 計	15	

## § 2. 「みらい塾」の部

### 1 事業概要

#### (1) 事業実施の概要

「みらい塾」において、利用者の人権と人間性を尊重し、一人ひとりのニーズに即応したきめ細かい援助を実践することにより、利用者の地域生活力の向上に努め、利用者の自立と社会参加を促進した。また、本場と分場の緊密な連携のもと、支援内容の充実に向けた取り組みを推進した。さらに、障がい者地域生活サポート推進ネットワーク協議会（もりきたエコムネット）との連携を強化しながら、積極的に地域福祉を推進した。

#### ① 利用者の人権尊重と質の高いサービス提供

当法人のスローガンである「地域生活力を高めよう」を合言葉に作業活動や社会適応力の向上を目指した事業を積極的に実施した。また、利用者が地域で暮らす社会の一員としての自覚が持てるよう生活していくことができるように、作業活動を中心としながら、毎月作業工賃を支給し、社会参加意欲の向上に努めた。

さらには、平日の各事業（生活介護・就労継続支援B型）の利用者を対象とした土曜日開所（余暇支援活動）を年19回開催し、利用者相互の交流と親睦を深めた。

また、みらい塾平日の利用者を対象としての日中一時支援事業（夕方・早朝見守り）を実施し、今年度は延べ620人の利用（月平均約51人）があった。

リスクマネジメントにおいては、24年9月からヒヤリハット報告書を作成し、全体会議に等により職員間で情報共有し、対策を検討しながら再発防止に努めている。

#### ② 地域との積極的な交流

地域の一住民であることを認識し、盛岡大学附属高校との交流を定期的実施したほか、第6回目を迎えたみらい塾祭りにおいては、協賛団体や関係機関との相互理解と連携を強化した。

また、もりきたエコムネットの一員として、周辺の関連事業所との連携を密に保ちながら、毎月の連絡会議に参加することで地域の課題を共有し、誰もが暮らしやすい地域づくりに貢献するよう努めた。

#### ③ 運営の充実

みらい塾開所以来初めて、盛岡市から運営やサービス面等に関する実地指導を受けた。是正事項、口頭指導を何件か受けたが、全体的に良い評価を得た。

役付会議、本場・分場会議、全体会議を通じて職員間の連携を確保しながら、業務運営の円滑な推進に努めた。また、研修においては、ケアマネジメントやケース記録等をテーマに内部研修を積極的に実施し、職員の資質の向上に努めた。

防災に関しては、東日本大震災を教訓とし、実際の状況を想定した訓練計画を作成し、二次避難場所への避難や消防署への通報訓練等を実施した。また、消防署に事前に届出を提出し、12月と2月に総合訓練を実施した。

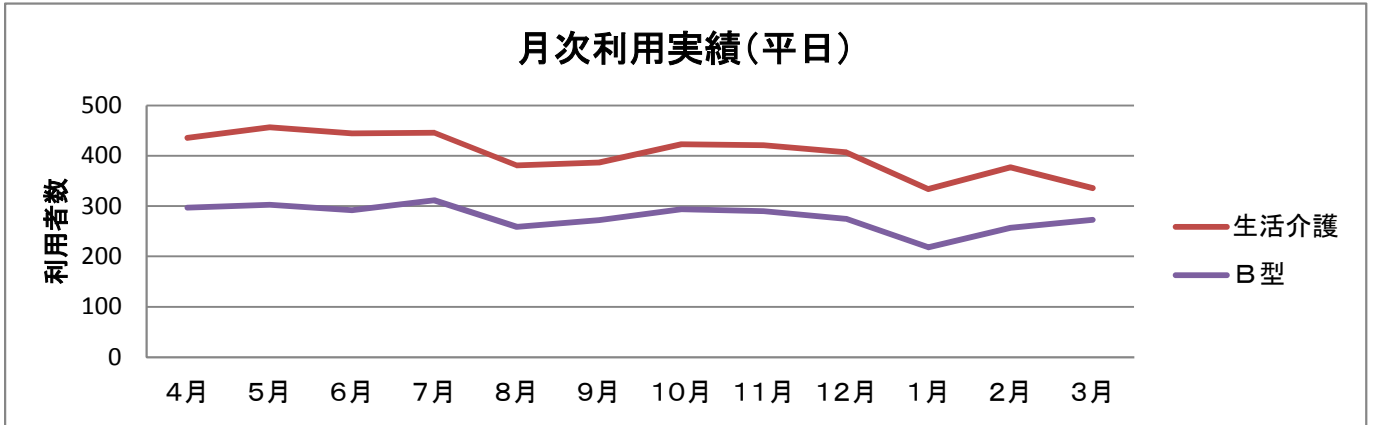
#### (2) 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実稼働日	実施場所	職員数	利用定員	延べ利用者数
生活介護事業	生活介護事業	254日	みらい塾	10人	20人	4,850人
就労継続支援事業	就労継続支援B型事業		みらい塾(上堂)	3人	15人	3,342人
地域活動支援センター事業	地域活動支援センター事業	108日	みらい塾	随時	30人/日	1,475人
地域生活支援事業	日中一時支援事業	-			10人/日	620人

2. 利用者状況(平成26年3月31日現在)

(1) 月次利用実績(平日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実稼動日(平日)	22	23	22	23	20	21	22	22	21	19	20	19	254
生活介護	436	457	445	446	381	387	423	421	407	334	377	336	4,850
就労継続B型	297	303	292	312	259	272	294	290	275	218	257	273	3,342
合計	733	760	737	758	640	659	717	711	682	552	634	609	8,192
平均利用者数/日	33.3	33.0	33.5	33.0	32.0	31.4	32.6	32.3	32.5	29.1	31.7	32.1	32.3
24年度平均	34.7	33.5	33.5	32.7	33.3	33.0	33.5	34.0	32.8	31.4	33.8	34.2	33.4

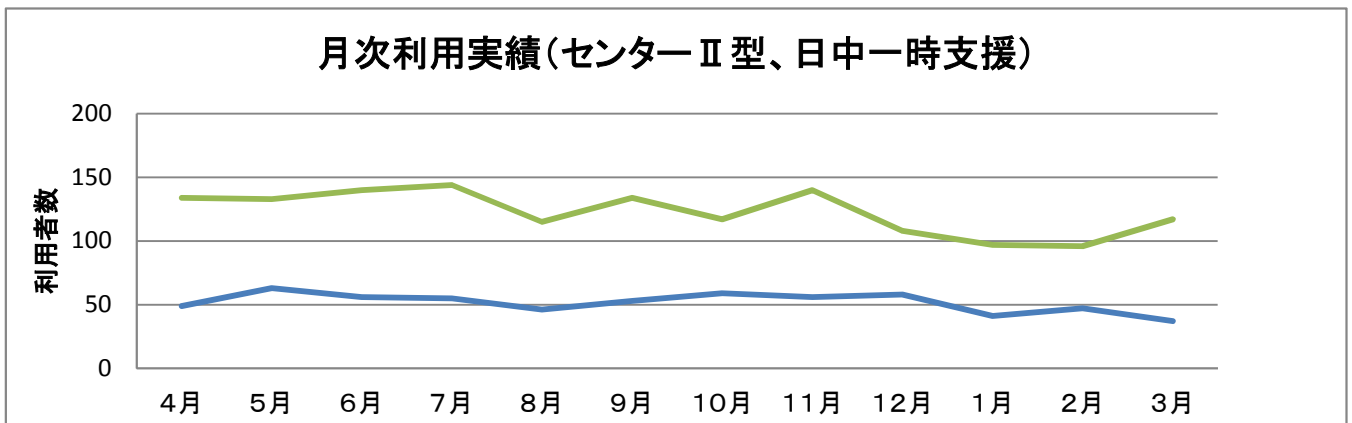


(2) 月次利用実績(土日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実稼動日(土日)	10	11	10	9	9	10	8	10	8	7	7	9	108
センターⅡ型	134	133	140	144	115	134	117	140	108	97	96	117	1,475
平均利用者数/日	13.4	12.1	14.0	16.0	12.8	13.4	14.6	14.0	13.5	13.9	13.7	13.0	13.7
24年度平均	11.8	10.2	11.9	10.9	12.0	10.3	11.8	10.4	13.3	11.2	13.7	13.8	11.8

(3) 月次利用実績(日中一時支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
早朝見守り	0	0	1	2	1	1	1	0	0	1	1	1	9
日中活動	2	5	3	3	3	5	2	2	0	1	2	1	29
夕方見守り	47	58	52	50	42	47	56	54	58	39	44	35	582
合計	49	63	56	55	46	53	59	56	58	41	47	37	620



(3) 在籍利用者数

	25年度現員	定員
生活介護	20	20
就労継続支援B型	14	15
合計	34	35

(4) 市町村別の状況

(人)

	盛岡市	滝沢村	岩手町	西和賀町	宮古市	合計
生活介護	16	1	1	1	1	20
就労継続支援B型	14					14
合計	30	1	1	1	1	34

(5) 年齢構成の状況

(人)

	18歳未満	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
生活介護	0	10	4	3	3	20
就労継続支援B型	0	3	5	5	1	14

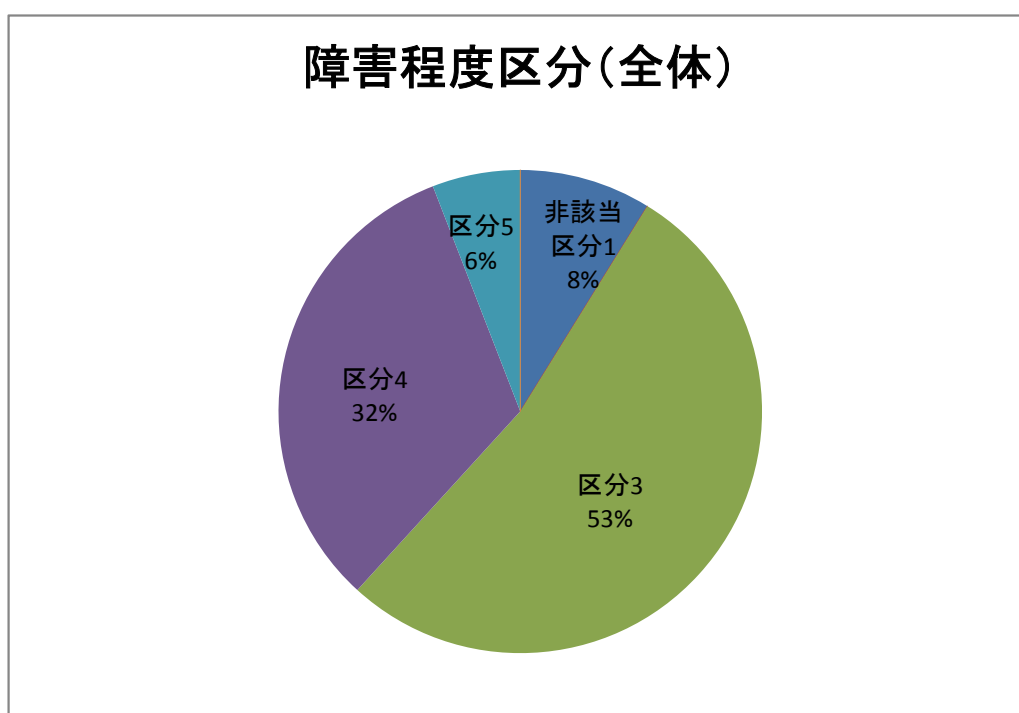
(6) 平均年齢

生活介護	27歳2ヶ月
就労継続支援B型	30歳9ヶ月

(7) 障害程度区分

(人)

	非該当-区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護	-	-	9	9	2	-	20
就労継続支援B型	3	-	9	2	-	-	14
合計	3	0	18	11	2	0	34





### 3. 事業実施状況

#### (1) 生活介護事業

概 要	「地域生活力を高めよう！」をスローガンに、個別支援計画に基づいた援助を計画的に行い、作業活動を中心に据えながら、地域資源の利用を積極的に実施し、利用者が自分らしく地域で生活していくことができるような活動に取り組んだ。
-----	--

活動種目	内 容	活 動 概 要
作業活動	食器等の包装作業	プラスチック製のスプーン・フォーク等を規定サイズのフィルムに入れて密封する作業。利用者の特性に応じ、シーラーがけ作業のほか、輪ゴムの個包装作業のような難易度の高い作業にも取り入れて提供している。
	リサイクル作業（空き缶）	保護者・近隣住民等からアルミ缶を回収し、ボトルキャップや汚れの多い缶を除去して袋に詰める作業を行った。
	リサイクル作業（古紙）	糊付けされた雑誌を1枚ずつはがし、糊部分やビニール表紙等を除去したうえで束ねた後、リサイクル業者へ納品した。
	チラシ・パンフレットの折り込み作業	ガス販売店（ミライフ東北株）で毎月配布するチラシの折り込み作業や、ガス器具の取り扱い説明書の袋詰め作業を行う。年末にはカレンダーの梱包作業も行った。
	ハンガー選別作業	リサイクル業者が回収したプラスチックハンガーを受け取り、形状や色で判断して2種類の材質（PP・PS）ごとに選別し、納品した。
社会生活活動	表 現 (各種教室)	外部から講師を迎え、定期的にフラワーアレンジメントや書道教室、英語教室を行った。作品を制作したり、講師とコミュニケーションを図る中で、自己表現の楽しみを感じる場とした。
	運 動	毎週金曜日の午後帯を運動の時間として、近隣の体育施設での軽運動（ストレッチ、ボールを使ったゲーム）を定期的に行った。6～9月は屋内プールを利用し、水中での全身運動を取り入れた。
	外 出	花見や雪まつりの見学など、地域の季節行事に参加し肌で感じることで、豊かな情操を養う機会とした。
	交流活動	盛岡大学附属高等学校の柔道部員との交流を行った。今年度も学校へ出向き、一緒にレクリエーションを行う中で相互に理解を深めた。3月には日中活動について知ってもらうため、学生の作業交流体験の受け入れを行った。
	地域活動	みたけ五丁目自治会の一員として、近隣ゴミ集積所の清掃を行った。

(2) 就労継続支援B型事業

概 要	<p>作業活動を主たる内容に位置づけ、個別支援計画に基づいた援助を計画的に行うとともに、協力企業内での施設外支援を実施し、利用者の職業的自立を目指した。また、コミュニケーション技術・マナー等を確認し、地域生活力の向上を目指した支援を行った。</p>
-----	--

活動種目	内 容	活 動 概 要
作業活動	食器等の 包装作業	<p>プラスチック製のスプーン・フォーク・輪ゴム等を規定サイズのフィルムに入れて密封する作業。検品を行いながらフィルムへ入れる作業の他、フィルムの切り方・シーラー機による密封作業を行った。また、資材の補充や梱包物の検量など一連の作業工程を細分化し、利用者の特性に応じた作業に従事できるよう支援した。</p>
	施設外就労 (千秋堂)	<p>協力企業（千秋堂）との契約に基づき、利用者3人以上と付添職員1人が毎日工場に出向き、菓子製造作業全般（クルミ選別、箱折り、ラベル貼りなど）の他、工場内の清掃作業も行った。</p>
	施設外実習 (梅の湯)	<p>平成25年4月から、盛岡市長田町の銭湯（梅の湯）にご協力いただき、利用者1名が週4日実習を行った。入浴客が来るまでの間に、ボイラーの燃料となる廃材運搬や浴室・脱衣室・玄関等の清掃など、多岐に亘る作業に取り組んだ。</p>
社会生活 活動	エンパワメント 活動	<p>コミュニケーション能力の向上を図ることを目的として、挨拶・返事の仕方やわからないことの聞き方、言葉遣いやマナー等を確認し、個々の気づきを促した。</p>
	軽運動	<p>地区の福祉センターの体育館や、身障者体育館を利用し定期的に体を動かす機会をもった。徒歩で移動することで、地気分転換も図られている。また、今年度は6～9月に本場と合同でプールを利用した。</p>
	社会見学	<p>盛岡市の手作り村を訪問し、南部鉄瓶など工芸品の製造過程を見学した。見学後は陶器作りを行い、物作りの難しさ・喜びを体感することができた。</p>
	地域交流	<p>6月に上堂にオープンした（有）宮崎商店のガソリンスタンド『エネオス』前の花壇整備を実施。花の苗を植える様子は、地元民放の情報番組で放映された。</p>

(3) 土曜日開所

概 要	<p>平日の各事業（生活介護・就労継続支援B型）と地域活動支援センターⅡ型の利用者を対象として、年間19回実施した。当初は20回の予定であったが、インフルエンザ流行に伴い3月8日は中止とした。</p> <p>延べ利用人数が年間で700人で、1回当たりの平均が36.8人と多くの方にご利用いただいた。</p> <p>また前年度と同様に地域活動支援センターⅡ型事業と合同開催とすることで、平日利用者とⅡ型の利用者が相互に交流する機会とした。</p> <p>今年度は、月に1回ボランティアサークル「カフェ・ド・グリグリ」と共催し、喫茶コーナーを設け、余暇活動の充実に取り組んだ。</p>							
	内 容	開催日	活 動 内 容	活 動 場 所	利用者数(人)			合計
平日					Ⅱ型	グ リ グ リ		
	4/27	カラオケ	八幡平ハイツ	28	4	4	36	
	5/11	ボウリング	スターレーン	26	7	-	33	
	5/25	バイキング	ホテル千秋閣	26	8	8	42	
	6/8	こどもの森	こどもの森&石神の丘	28	16	-	44	
	6/22	運動会	国立岩手山青少年交流の家	27	7	7	41	
	7/20	ニュージーランド村	東北ニュージーランド村	26	18	5	49	
	8/10	ボウリング	スーパーレーン	25	7	-	32	
	8/24	グランドゴルフ	ぬくもりの里 NUC	26	2	8	36	
	9/14	運動会	浜民体育館	20	4	-	24	
	9/28	バーベキュー	小岩井農場	24	7	-	31	
	10/19	八幡平ハイツ	八幡平ハイツ	27	5	7	39	
	11/9	こどもの森	こどもの森	26	10	-	36	
	11/23	サッカー大会	国立岩手山青少年交流の家	24	3	7	34	
	12/7	忘年会	網張温泉	29	4	6	39	
	12/21	Xmas パーティー	盛岡グランドホテル	29	9	-	38	
	1/11	新年会	雫石あねっこ	22	9	-	31	
	1/25	ボウリング	スターレーン	26	6	7	39	
	2/15	豪華お弁当	ホテルゆらら	26	3	7	36	
	3/8	インフルエンザ流行のため中止						
	3/22	いちご狩り	花巻	22	10	8	40	
			合 計	487	139	74	700	

(4) 地域活動支援センターⅡ型事業

<p>概 要</p>	<p>土・日・祝日の余暇の過ごし方の選択肢として、毎月様々な活動メニューを企画して提供することにより、生活意欲の増進や利用者間の仲間づくりを促進した。</p> <p>今年度から定員を20人から30人に変更したことで、申込みを断ることもほとんどなく、多くの方にご利用いただいた。</p> <p>メニューについては、ボウリングやカラオケは定番メニューとなっている。月別の延べ利用人数と、参加者が20人程度の人気メニューは下記のとおり。</p> <p>今年度の1回あたりの平均利用人数が13.7人となり、昨年度より、1回あたり2.5人増えたことになり、利用者が増えていることが窺える。</p>				
<p>月毎の 状況</p>	<p>月</p>	<p>延べ 人数 (人)</p>	<p>実施 回数 (回)</p>	<p>平均 人数 (人/回)</p>	<p>人気メニュー (活動内容)</p>
	4月	134	10	13.4	カラオケ、角館ドライブ
	5月	133	11	12.1	カラオケ
	6月	140	10	14.0	ボウリング
	7月	144	9	16.0	パーベキュー、カラオケ、パイキング
	8月	115	9	12.8	アイス作り、ボウリング
	9月	134	10	13.4	巖美溪ドライブ
	10月	117	8	14.6	ボウリング
	11月	140	10	14.0	カラオケ (18人) ×2回
	12月	108	8	13.5	カラオケ
	1月	97	7	13.9	ボウリング
	2月	96	7	13.7	カラオケ (19人)
	3月	117	9	13.0	カラオケ (19人)
	合計	1,475	108	13.7	※平成24年度の1回あたりの平均 11.2人

(5) 日中一時支援事業

概 要		<p>今年度から平日の日中活動と夕方見守り支援と併せて、早朝見守り支援を実施した。</p> <p>延べ利用人数は下記のとおりであり、実利用人数は14人であった。</p> <p>主に夕方の利用が中心となり、早朝、日中は少ない状況であった。</p> <p>特別支援学校の長期休暇時の利用も1人と少なかった。</p>												
延べ 利用 人数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	朝	0	0	1	2	1	1	1	0	0	1	1	1	9
	日中	2	5	3	3	3	5	2	2	0	1	2	1	29
	夕方	47	58	52	50	42	47	56	54	58	39	44	35	582
	合計	49	63	56	55	46	53	59	56	58	41	47	37	620

(6) リスクマネジメント状況

ヒヤリハットの報告について前年度から様式を見直し文書化することで、各職員へヒヤリハットの意識付けを図り、その都度のミーティングや職員会議の場で確認しながら、事故防止に努めた。

全体的に職員に起因するものが多く挙げられ、対応として、職員間の情報共有のあり方や仕組み作りをする機会につながった。

利用者に起因するものについては、個別性や専門性が求められるケースが多く、その都度協議し、対応について職員間で統一できるよう検討しながら、情報共有を図った。

今後とも、リスクマネジメントの定着を図りながら、継続した情報収集と分析を重ね、より安全性の高いサービス提供ができるよう職員間で業務改善意識を高めていくことが必要である。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者に起因する 案件	5	1	2	3	2	1	0	2	0	1	3	0	20
職員に起因する 案件	4	5	6	4	5	3	3	5	0	5	3	4	47
合 計	9	6	8	7	7	4	3	7	0	6	6	4	67

(7) 実習生受入状況

特別支援学校等のカリキュラムに基づき、実際の事業所での体験の場の提供として実習生の受け入れを実施。

今年度の実習受入状況については以下のとおり。

所属	学年	実人員	延人員	日数
岩手県立盛岡みたけ支援学校高等部	2年	2人	30人	10日間
	2年	3人	30人	10日間
岩手大学教育学部附属特別支援学校	2年	1人	10人	10日間
合 計		6人	70人	30日間

(8) 社会福祉実習生等の受入状況

① 社会福祉士養成課程における相談援助実習

将来、社会福祉士を目指す学生を対象とし、実習プログラムに基づき23日間・180時間以上の相談援助実習を受け入れ、社会福祉専門職としての実践力の養成に努めた。

実習期間	学校名等	人員	実習内容等
25.8.1～9.6	盛岡医療福祉専門学校	1人	相談援助実習
25.9.3～9.19(前期) 25.11.5～11.17(後期)	岩手県立大学社会福祉学部	2人	ソーシャルワーク現場実習

② 社会福祉施設実習等

社会福祉従事者の養成や福祉意識の涵養等を目的とし、専門学校生等の実習を受け入れた。

実習期間	学校名等	人員	実習内容等
25.11.18～11.29	盛岡大学短期大学部 幼児教育科	2人	社会福祉施設実習
25.11.20～21	盛岡大学附属高等学校	2人	インターンシップ
26.3.10～3.17	盛岡大学附属高等学校	19人	共同作業交流

(9) 関係機関との連携、委員等の派遣

下記の依頼を受け、関係機関との連携に協力した。

任 期	名 称	担当者
24.8.1～26.7.31	盛岡市知的障害者相談員	山田 明夫
25.5～27.3	盛岡市自立支援協議会委員	立石 真司
26.1～26.12	盛岡市自立支援協議会高齢化対策プロジェクトチームメンバー	立石 真司

#### 4 職員研修実施状況

職員の資質向上を目指し、より良い支援・サービスの提供を努めることを目的に、日々のミーティング等でOJTを推進し、実践的な能力を個々に高めた。

今年度は、内部研修のテーマをケアマネジメントの展開過程やケース記録の書き方に設定し、継続的かつ段階的に研修を実施し、利用者支援に必要な専門的知識や技能への理解を深めた。

また、職場外研修として、岩手県社会福祉協議会等が主催する各種研修会に、積極的に職員を派遣し、職員の資質向上に努めた。

##### (1) 職場内研修実施状況

実施月	研修テーマ	講師	参加者
4月	支援記録について①	事務長	9人
5月	支援記録について②	分場長	11人
6月	ケアマネジメントの展開過程とサービス等利用計画	事務長	12人
7月	法人訓、事業計画等について	事務長	11人
8月	障害者虐待防止法について	事務長	13人
9月	個別支援計画の作成等について	事務長	13人
10月	ケア会議について	事務長	12人
11月	エコムネットアンケート調査について	事務長	11人
12月	伝達研修 ①リスクマネジメント ②感染症予防	①田中、②永田	9人
2月	①キャリア教育、②計画相談	①分場長、②事務長	9人

##### (2) 職場外研修参加状況

期日	主催	研修内容	参加者
25.7.6～7	日本社会福祉士会	日本社会福祉士会全国大会 岩手大会	2人
25.8.17	岩手県社会福祉士会	実習指導者フォローアップ研修会	1人
25.8.21	エコムネット	発達障がい研修	1人
25.8.28～29、9.25	岩手県	障がい者相談支援従事者初任者研修	1人
25.9.28	盛大短期大学部	盛大短期大学部特別支援教育研修会	2人
25.10.24	岩手県	虐待に関する相談窓口職員研修会	1人
25.11.13	県社会福祉協議会	リスクマネジメント講座	2人
25.11.27～28	岩手県	サービス管理責任者研修(就労)	1人
25.11.28～29	日本防火協会	防火管理者研修	1人
25.12.5	盛岡市保健所	感染症集団発生予防研修	1人
26.1.25	盛岡広域振興局	高齢者・障がい者の権利擁護・総合相談研修会	1人
25.2.25、3.6、3.11	県社会福祉協議会	障がい福祉サービス事業所新任研修会	1人

## 5 地域社会との交流

### (1) みらい塾祭り

みらい塾の活動を地域住民により認知していただくとともに、地域との交流を深めることを目的として『第6回みらい塾祭り』を平成25年10月6日(日)に開催した。

今年度も前年度と同様、祭りの協賛として17か所の企業及び団体の方にご支援をいただいた。

なお、イベント及び出店内容については以下のとおり。

#### ① イベント内容

イベント内容	団体名
吹奏楽	ゲーテンライエ 様
空手演武	英志館 様
フラダンス	ファイフレア 様
大抽選会、クイズ大会	みらい塾

#### ② 出店内容

出店内容	団体名
握り寿司 等	釜石ごん太 様
たこやき・ジュース	S・Rサービス 様
やきとり	(株)FORCE 様
やきそば	カフェ・ド・グリグリ 様
大判焼き	(株)千秋堂 様
トロピカルジュース・ゲーム	みらい塾

### (2) ボランティア受入状況

利用者支援の向上や地域住民の理解を深める観点からボランティアの受け入れを行った。

平日の活動においては、みらい塾開設当時から継続して来て頂いている方と併せて、3月には盛岡大学短期学部と岩手県立大学からの学生ボランティアを受け入れた。

また、土日祝日の活動においては、継続的なボランティアの方々と共に盛岡大学短期大学部の学生を受け入れ、支援力の向上とボランティアの育成を行うことができた。

今年度の受け入れボランティアについては以下のとおりである。

(延べ)

月	平日の活動	土日祝日の活動	合計
4月	10人	7人	17人
5月	10人	4人	14人
6月	9人	2人	11人
7月	5人	6人	11人
8月	7人	0人	7人
9月	4人	2人	6人
10月	9人	2人	11人
11月	10人	1人	11人
12月	5人	2人	7人
1月	5人	2人	7人
2月	2人	2人	4人
3月	12人	4人	16人
合計	88人	34人	122人



## 6 防災訓練実施状況

利用者・職員の防災意識を高めるとともに、災害時及び緊急時に迅速に対応できるよう、避難方法・避難場所を確認することを目的に、本場、分場共に年間計画に基づき下記のとおり実施した。

### (1) 本場

実施日	想定	時間帯	避難場所	備考
4月25日	強い地震(宮城県沖)	午前	みらい塾駐車場 →城北小学校	二次避難場所の確認も実施
5月29日	火災(みらい塾2階から出火)	午後	みらい塾内	雨天のため内部で人数確認
6月27日	地震による火災(岩手山震源・塾2階出火)	午後	みらい塾駐車場 →城北小学校	延焼を想定し、二次避難も実施。
7月29日	火災(みらい塾2階から出火)	午前	みらい塾駐車場	
8月9日	防災講習	午後	講習場所(みらい塾)	みらい塾職員による講習
9月30日	県営武道館から火災が発生	午後	みらい塾駐車場	
10月30日	強い地震(宮城県沖)	午前	みらい塾駐車場	
11月26日	火災(みらい塾2階から出火)	午前	みらい塾内	雨天のため内部で人数確認
12月19日	総合訓練(消防訓練)	午後	みらい塾駐車場	消防署への通報訓練も併せて実施
1月28日	県営武道館(運動中に地震が発生)	午後	武道館柔道場玄関	
2月19日	消防署員による防災講習(消防訓練)	午後	講習場所(みらい塾)	西消防署に講師依頼
3月28日	火災(みらい塾2階から出火)	午前	みらい塾駐車場	

### (2) 上堂分場

実施日	想定	時間帯	避難場所	備考
4月26日	強い地震(宮城県沖)	午後	スバル自動車駐車場 →上堂老人福祉センター	二次避難場所の確認も実施
5月23日	火災(上堂分場2階から出火)	午後	スバル自動車駐車場 →上堂老人福祉センター	二次避難場所の確認も実施
6月28日	老人福祉センター利用時の火災	午後	上堂老人福祉センター玄関	老人福祉センターの職員も協力
7月30日	火災(上堂分場2階から出火)	午後	スバル自動車駐車場	
8月28日	強い地震(三陸沖)	午後	みらい塾上堂分場内	
10月31日	火災(上堂分場2階から出火)	午後	スバル自動車駐車場 →上堂老人福祉センター	二次避難場所の確認も実施
11月29日	火災(上堂分場3階から出火)	午前	スバル自動車駐車場	
12月26日	強い地震(三陸沖)	午後	みらい塾上堂分場内	
2月14日	老人福祉センター利用時の火災	午後	上堂老人福祉センター玄関	老人福祉センターの職員も協力
2月19日	消防署員による防災講習(消防訓練)	午後	講習場所(みらい塾)	本場と合同開催
3月25日	火災(上堂分場2階から出火)	午前	スバル自動車駐車場	

## 7. 収入・支出の状況

## 貸借対照表

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

【資産の部】

平成26年 3月31日 現在

単位：千円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【流動資産】	28,217	59.3	30,739	60.1	△2,522	91.8
現金・預金	16,663	35.0	18,165	35.5	△1,501	91.7
利用者未収入金	159	0.3	169	0.3	△10	93.9
保険未収入金	10,397	21.9	11,275	22.1	△877	92.2
前払金	360	0.8	325	0.6	34	110.7
仮払金			30	0.1	△30	
前払費用	493	1.0	479	0.9	13	102.8
未収入金	113	0.2	293	0.6	△179	38.7
入塾者立替金	29	0.1			29	
【固定資産】	19,357	40.7	20,391	39.9	△1,033	94.9
(有形固定資産)	14,822	31.2	16,437	32.1	△1,615	90.2
建物附属設備	13,899	29.2	14,992	29.3	△1,093	92.7
構築物	77	0.2	101	0.2	△24	75.9
車両運搬具	378	0.8	679	1.3	△301	55.7
工具器具備品	467	1.0	663	1.3	△195	70.5
(無形固定資産)			24	0.0	△24	
ソフトウェア			24	0.0	△24	
(投資その他の資産)	4,534	9.5	3,928	7.7	606	115.4
出資金	1	0.0			1	
敷金	860	1.8	860	1.7		100.0
共済事業積立金	3,636	7.6	3,030	5.9	605	120.0
長期前払費用	37	0.1	37	0.1		100.0
資産合計	47,574	100.0	51,130	100.0	△3,555	93.0

## 貸借対照表

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

【負債・純資産の部】

平成26年 3月31日 現在

単位：千円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【流 動 負 債】	【 2,290】	4.8	【 3,183】	6.2	△893	71.9
未 払 費 用	1,638	3.4	1,393	2.7	245	117.6
未 払 法 人 税 等	72	0.2	1,341	2.6	△1,269	5.4
預 り 金	487	1.0	338	0.7	148	143.7
仮 受 金	92	0.2	109	0.2	△17	84.3
【固 定 負 債】	【 9,262】	19.5	【 11,512】	22.5	△2,250	80.5
長 期 借 入 金	9,262	19.5	11,512	22.5	△2,250	80.5
負 債 合 計	11,552	24.3	14,696	28.7	△3,143	78.6
【株 主 資 本】	【 36,021】	75.7	【 36,434】	71.3	△412	98.9
資 本 金						
(利 益 剰 余 金)	( 36,021)	75.7	( 36,434)	71.3	△412	98.9
その 他 利 益 剰 余 金	36,021	75.7	36,434	71.3	△412	98.9
繰 越 利 益 剰 余 金	36,021	75.7	36,434	71.3	△412	98.9
純 資 産 合 計	36,021	75.7	36,434	71.3	△412	98.9
負 債 ・ 純 資 産 合 計	47,574	100.0	51,130	100.0	△3,555	93.0

## 損益計算書

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

単位：千円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【売 上 高】	67,869	100.0	70,925	100.0	△3,056	95.7
会 費 収 入	425	0.6	385	0.5	40	110.4
自立支援費等収入	55,095	81.2	58,457	82.4	△3,362	94.2
地域生活支援事業収入	9,246	13.6	7,476	10.5	1,770	123.7
補助金等収入	450	0.7			450	
その他収入	2,652	3.9	4,606	6.5	△1,953	57.6
売上総利益金額	67,869	100.0	70,925	100.0	△3,056	95.7
【販売費及び一般管理費】	68,653	101.2	64,526	91.0	4,126	106.4
営業損失金額	△783	△1.2	6,398	9.0	△7,182	
【営業外収益】	443	0.7	79	0.1	364	559.7
受取利息	3	0.0	3	0.0		121.2
雑収入	439	0.6	76	0.1	363	577.9
経常損失金額	△340	△0.5	6,478	9.1	△6,818	
税引前当期純損失金額	△340	△0.5	6,478	9.1	△6,818	
法人税、住民税及び事業税	72	0.1	1,341	1.9	△1,269	5.4
当期純損失金額	△412	△0.6	5,136	7.2	△5,548	

## 販売費及び一般管理費

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

単位：千円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
理 事 報 酬	7,240	10.7	7,120	10.0	120	101.7
給 与 手 当	31,036	45.7	28,569	40.3	2,466	108.6
賞 与	510	0.8	577	0.8	△66	88.4
本 人 支 給 金	1,641	2.4	2,226	3.1	△585	73.7
退 職 金			139	0.2	△139	
教 育 訓 練 費	1,532	2.3	1,034	1.5	497	148.1
法 定 福 利 費	5,483	8.1	5,142	7.3	340	106.6
福 利 厚 生 費	548	0.8	622	0.9	△73	88.2
広 告 宣 伝 費	23	0.0	210	0.3	△187	11.0
旅 費 交 通 費	54	0.1	88	0.1	△33	62.3
通 信 運 搬 費	446	0.7	456	0.6	△9	97.9
交 際 費	760	1.1	542	0.8	218	140.3
減 価 償 却 費	2,378	3.5	2,061	2.9	316	115.4
賃 借 料	7,608	11.2	7,864	11.1	△256	96.7
保 険 料	736	1.1	688	1.0	47	106.9
修 繕 費	48	0.1	435	0.6	△387	11.0
水 道 光 熱 費	1,095	1.6	1,022	1.4	72	107.1
燃 料 費	1,294	1.9	1,185	1.7	108	109.1
消 耗 品 費	448	0.7	231	0.3	216	193.8
租 税 公 課	695	1.0	740	1.0	△44	94.0
印 刷 製 本 費	156	0.2			156	
諸 謝 金	1,130	1.7	1,608	2.3	△477	70.3
事 務 用 品 費	1,842	2.7	856	1.2	985	215.0
管 理 諸 費	1,056	1.6	499	0.7	556	211.4
支 払 手 数 料	36	0.1	36	0.1		99.1
諸 会 費	1	0.0	1	0.0		100.0
新 聞 図 書 費	90	0.1	55	0.1	34	161.8
負 担 金 支 出	78	0.1	78	0.1		100.0
寄 附 金 支 出	75	0.1	75	0.1		100.0
会 議 費	170	0.3	23	0.0	147	729.8
車 輛 費	432	0.6	330	0.5	102	131.0
<b>合 計</b>	<b>68,653</b>	<b>101.2</b>	<b>64,526</b>	<b>91.0</b>	<b>4,126</b>	<b>106.4</b>